

講義コード	1055	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	ホイクジツシュウシドウニ	(フリガナ)	クニヒロカツヨ・ヤマグチキョト
授業科目名	保育実習指導Ⅱ(後半)	担当教員名	国広勝代・山口季音
英文授業科目名	nursery training guidance Ⅱ		
基準年次(開講期)	4年次(通年)	履修形態	選択(保育士資格必修科目)
曜日/時限/講義室	火曜/1時限/保育実習室		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	演習中心
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	実習課題、記録、専門性、職業倫理		
授業概要・目的	「保育実習Ⅰ」を終えての課題を踏まえ、既習の教科の内容や関連性を踏まえた保育実践力を養う。また、保育士の専門性と職業倫理について理解し、保育所実習に備える。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習による総合的な学びを意識できるようになる。</li> <li>・保育士の専門性と職業倫理についての認識を深める。</li> </ul>		
授業計画			
第1回	《事前》		
第2回	・子どもの最善の利益を考慮した保育について……………1回		
第3回	・子どもの保育と保護者支援……………1回		
第4回	・子どもの状態に応じた適切なかわり……………3回		
第5回	・保育表現技術を生かした保育実践……………2回		
第6回	・保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践……………2回		
第7回	・保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善……………1回		
第8回	・保育士の専門性と職業倫理……………1回		
第9回			
第10回	《事後》		
第11回	・実習を振り返り、報告会で報告する……………2回		
第12回	・実習中に学んだことや実習後の保育観と新たな目標等について、		
第13回	「保育実習Ⅱ報告書」を作成する。……………2回		
第14回			
第15回			
教科書・参考書等	《テキスト》 大豆生田啓友・高杉展・若月芳浩『幼稚園実習 保育所・施設実習』ミネルヴァ書房 《参考文献》 高嶋景子・砂上史子・森上史朗編『子ども理解と援助』ミネルヴァ書房		
授業で使用する 機器等	プロジェクター、映像機器		
予習・復習への アドバイス	保育資格科目の内容を再度確認し、予習・復習に役立てること。		
履修上の注意・ 受講条件等	保育士資格必修科目。		
成績評価の基準等	演習科目として、出席と積極的な授業態度を重視する。また、実習のふりかえりに基づいた報告書も評価の対象となる。 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) その他(20/100)		
メッセージ	緊張感をもって授業に取り組む、実習に生かすこと。		
オフィス・アワー			
その他			